

平成 30 年度のごみ処理状況

平成 30 年度における、二町(安平町・厚真町)の皆さんが出されたごみの排出量やリサイクルの状況、ごみ処理にかかった経費をお知らせします。

ごみの排出量

3,524t (平成 30 年度総排出量 対前年度比 87 トン減少)

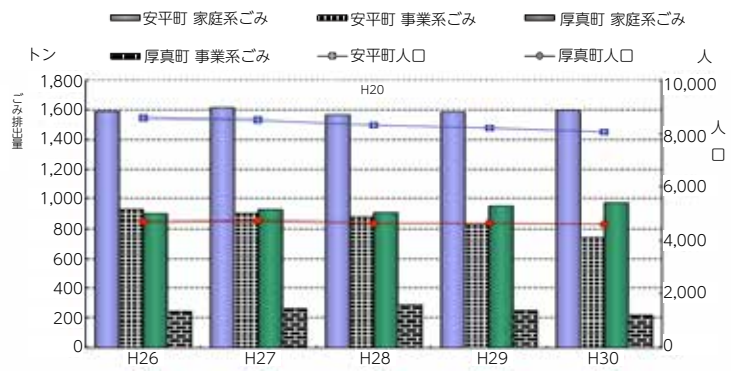
安平町・厚真町における過去 5 年間の家庭系及び事業系のごみ排出量と人口の推移はグラフ 1 のとおりです。

平成 30 年度は前年度と比べ、総排出量で 87 トン減少しました。

平成 25 年 7 月より家庭ごみ有料化が開始され、直前の 6 月までは『もやせるごみ』『もやせないごみ』が前年比で大幅に増加しましたが、以降は皆様のご協力により減少傾向にあります。これからも、ごみの減量にご協力をお願いいたします。

※災害ごみは含まれていません

グラフ 1 ごみ排出量・人口推移



	安平町			厚真町		
	家庭系ごみ	事業系ごみ	人口	家庭系ごみ	事業系ごみ	人口
H 26	1,587 トン	929 トン	8,581 人	899 トン	241 トン	4,708 人
H 27	1,612 トン	901 トン	8,510 人	927 トン	260 トン	4,720 人
H 28	1,563 トン	878 トン	8,322 人	906 トン	285 トン	4,681 人
H 29	1,582 トン	832 トン	8,218 人	950 トン	247 トン	4,658 人
H 30	1,594 トン	742 トン	8,067 人	972 トン	216 トン	4,624 人

資源化の推移

排出されるごみのうち、資源化される割合をリサイクル率と定め、平成 30 年度のリサイクル率は 24.2% で、内訳は右表のとおりです。

25 年 7 月からの有料化とともに紙類・せん定枝の収集が始まり、『もやせるごみ』や『もやせないごみ』から資源回収への移行が進んだ結果がリサイクル率の増加に表れています。

リサイクルすることは、限りある資源を有効に活用するとともに、経費の節減にもなりますので、引続き資源化の取り組みにご協力をお願いします。



(単位: トン)

	H26	H27	H28	H29	H30
鉄 屑	51	54	57	53	54
紙 パ ッ ク	3	3	3	2	2
ペ ッ ト ボ ト ル	39	32	40	40	29
び ん	101	95	102	100	90
缶	74	67	72	71	51
生 ご み 堆 肥 化	171	169	157	154	129
古 紙 類	508	524	604	501	275
プ ラ ス チ ッ ク	194	181	182	176	170
小 型 電 子 ・ 電 気 機 器	6	9	11	8	8
紙 類	139	133	132	128	122
剪 定 枝	12	27	11	13	10
リサイクル率 (%)	31.2	30.6	30.6	30.3	24.2

ごみの処理経費

平成 30 年度のごみ処理経費の総額は、223,734 千円で内訳はグラフ 2 のとおりです。

ごみの収集運搬経費、ごみの焼却・埋立・資源化などを行うごみ処理経費、組合の処理場の維持管理経費及び人件費等が直接ごみ処理に要した経費で、ごみ 1 トンあたり約 63 千円、住民一人あたりで計算すると、約 18 千円となります。

グラフ 2 平成 30 年度ごみ処理経費の内訳

